

相模原市と相模原市米軍基地返還促進等市民協議会による要請結果について

このことについて、次のとおり実施しましたので、お知らせします。

1 日時 令和元年11月21日(木) 午前9時30分～午後3時45分

2 要請者 相模原市  
相模原市米軍基地返還促進等市民協議会  
(会長：相模原市長、副会長：市議会議長・市自治会連合会会長・  
連合神奈川相模原地域連合議長、理事：相模原市副市長・  
市議会議員・地区自治会連合会長等) 15名

3 要請内容 「基地の返還等、米軍基地問題に関すること」

4 要請先等

要請先	対応者
在日米陸軍司令官 (キャンプ座間)	デイビット・ファイラー 在日米陸軍司令部日米防衛協力部長
米海軍厚木航空施設司令官 (厚木基地)	ブリアナ・ベグリーニ 広報副部長 高倉 雅子 渉外部長
駐日米国臨時代理大使	メリッサ・スウィーニー 安全保障政策課長
防衛大臣	中村 吉利 地方協力局長
外務大臣	鈴木 馨祐 副大臣

5 対応者の主な発言

【キャンプ座間】

- ・基地管理本部司令官に代わり、要請書を受領するとともに、日米両政府の調整機関である在日米軍の参考資料となるよう伝達する。
- ・第38防空砲兵旅団司令部について、皆様が懸念されていることは承知している。また、当該司令部の活動を把握するため、現場視察を希望されていることも承知している。市からの公式な要請があれば、説明を行う準備は整っている。
- ・ヘリコプターの騒音については、南関東防衛局及び神奈川県から入学試験や祝祭日等には飛行を自粛するよう、定期的に要請を受けている。今後も引き続き、これらの要請に対応するとともに、安全な運用に努める。
- ・ヘリコプターの低空飛行が原因と思われる事故については認識している。警察に被害届が提出されたのち、適切に対処する所存である。
- ・災害等の有事の際には、市長の要請で支援する体制が整っている。

- ・台風については、ゴルフ場の防球ネットに被害があったことを認識している。現在は、適切に対応している。

#### 【厚木基地】

- ・本日の要請内容については、司令官及び関係機関に伝え、情報共有を図っていく。

#### 【米国大使館】

- ・米軍の駐留が市民生活に様々な影響や支障を生じさせていることは理解している。私たちは良き隣人としての関係の構築に引き続き取り組んでいきたい。
- ・大使館として、地元の方々の意見を伺うことは重要であり、理解を深めることにもつながる。今日の要請の内容は代理大使及び代理公使にも伝えるとともに、ワシントン並びに米軍のカウンターパートにも報告する。

#### 【防衛省】

- ・返還4事案の実現に向けて、市の意向を踏まえ米側と協議していく。
- ・第38防空砲兵旅団司令部は、昨年10月から活動を開始しており、ハワイの第94対空ミサイル防衛コマンドの一部として、車力、経ヶ岬などの統制、調整を行うとの説明を受けている。当該施設は要員のみが駐留し、装備品の導入はないとされており、また新たな大規模な訓練は行わないことから、国としては基地の機能強化に当たらないと認識している。
- ・ヘリコプター騒音被害については、国としても重々承知しており、安全面に配慮するとともに、一定の高度を確保するなど地域への影響を最小限とするよう米側に求めていく。
- ・ヘリコプターの低空飛行が原因と思われる被害については、市からの報告を受け、米軍に対して事実確認を求めたところである。
- ・オスプレイの運用等の情報については、得られたものは速やかに提供する。
- ・キャンプ座間の防球ネット等の安全確認については、必要な対応であると認識しているため、今後、米軍に事前・事後の確認を求めていく。

#### 【外務省】

- ・返還4事案の早期実現に向けて、防衛省と連携して取り組む。
- ・第38防空砲兵旅団司令部は、司令部のみの駐留であり、当該司令部の駐留に当たり、地元への影響等、十分配慮するよう、米側に求めていく。
- ・ヘリコプター騒音問題については、飛行時間帯など日米合意事項の順守をはじめ、騒音による影響が最小限となるよう求めていく。
- ・ヘリコプターの低空飛行が原因と思われる被害については、原因究明できるように、しっかりとフォローしていく。
- ・オスプレイについては、安全性の確保を万全にすることが重要であり、米側にしっかり求めていく。

問合せ先

渉外課 電話 042-769-8207(直通)